

# わが学び舎 松高小



八代市立松高小学校  
学校だより  
NO. 3  
令和4年6月8日  
文責 校長 入佐正夫

## 少しずつよくなってきた学びに向かう姿・集中する姿

前号の学校便りで「正しい座り方」についてお伝えしました。現在、どの学級でも「よい座り方」の子供たちが少しずつ多く見られるようになってきました。そんな姿を見るととても気持ちがいいですね。そして、そのような姿勢で授業を受けている子供たちの様子を見るとその眼と話を聴く姿勢は学びに向かい集中しています。座り方が崩れている子供たちからは、反対に学びに集中できていない姿が見えます。学びに向かう気持ち、心構えは、座り方に出ます。まさに「よい座り方」から学びは始まります。



## 人間関係づくりを大切にすることと行動力

学校は、多くの人と一緒に学び生活をする場所です。そのような環境で一番大切にしなければならないのが、人間関係です。すべての人が信頼し合い助け合い生活を送ることができれば素晴らしいことなのですが、そのようにいかないこともあります。しかし、絶対にしてはいけないことがあります。それは、いじめです。いじめに正当化する理由はありません。国の法律「いじめ防止対策推進法」において、いじめの禁止及びいじめの防止について明確に示されています。そこで、松高小学校では、「自分がされて嫌なことは人にしない」を基本にした取組を行っています。行動に移す前にそれが「自分がされて嫌なことかどうか」をしっかりと考えることができ、判断できる力を身に付けさせる必要があることから学校では、全ての教育活動でその指導を行っています。ご家庭でも同じようにお取り組みいただければ、子供たちの意識が高まり行動がよりよく変わると思いますので、よろしくお願いします。また、松高小学校ホームページにも載せていますが、本校では、「松高小いじめ防止基本方針」を策定し、その方針に則り取り組んでいます。また、いじめ防止のために今年度から学校の教職員3人を「情報集約担当者」として位置づけ組織的な対応ができるように努めております。これからも適切な人間関係づくりをめざし、みんなで努力していきましょう。

## 「当たり前のことが当たり前に見える姿」・・・松高小のめざす児童の姿です



うれしいことに「当たり前のことが当たり前に見える姿」が、4月、5月よりも少しずつ多く見られるようになってきています。たとえば、くつ箱のくつがきれいにならぶことが毎日のようになってきたことです。八代市教育委員会では、「やつしろスピリッツ」として八代型小中一貫・連携教育の育ちと学びの土台づくりのために3つの取組を行っています。

その1：「自分からすすんであいさつをする」

その2：「話す人の顔を見てしっかり話を聴く」

その3：「くつのかかとをくつ箱の手前のへりにそろえる」

これを、愛言葉「あいさつ・ききかた・そろえかた」として八代市の子供たちが当たり前に見えるようにすべての学校で取組を行っているものです。

今、松高小で取り組んでいることもこの「やつしろスピリッツ」そのものです。ご家庭でも3つの取組（家族、地域の人に進んであいさつする。家族の顔を見て話を聴く。玄関でくつをそろえる）が当たり前に見えるように、さらに素晴らしいことだと思います。「やつしろスピリッツ」が当たり前になるようこれからも学校全体で進めていきます。

